

2019年サラリーマンアンケート調査結果

2019.7.18

愛媛銀行 ひめぎん情報センター

【調査対象】 愛媛県内在住のサラリーマン 1,000人（公務員含む）
 【有効回答率】 44.0%（440人）
 【調査時期】 2019年5月下旬
 【調査方法】 愛媛県内支店等にてお客様に配布、無記名、郵送返却

-----回答者の属性-----

【平均年齢】 40.6歳
 【性別】 男性 56.1% 女性 43.9% 【未既婚別】 未婚 33.0% 既婚 67.0%
 【就業形態】 正社員 85.9% 非正社員 14.1% 【職種】 会社員 85.2% 公務員 10.9% 無回答 3.9%
 【平均年収】 全体 595.2万円 既婚（世帯収入）694.8万円 未婚 368.1万円

1. 小遣いについて

①月々の小遣い

平均 4.9万円（前回比+1,000円） 未婚 7.2万円（同+5,000円） 既婚 3.7万円（同▲1,000円）

②1年前と比べた小遣い額の増減

「増えた」 6.1% 「変化なし」 83.2% 「減った」 10.7%

「増えた」理由・・・「働き始めた」、「収入の増加」、「昇給」など

「減った」理由・・・「子どもの教育費」、「収入の減少」、「転職」、「ローンの増額」、「残業代の減少」など

③主な小遣いの使い道（複数回答）

	第1位	第2位	第3位
全体	食事・喫茶 57.7%	趣味・娯楽費 48.4%	飲み代 47.0%
未婚	食事・喫茶 66.9%	飲み代 52.4%	趣味・娯楽費 51.7%
既婚	食事・喫茶 53.2%	趣味・娯楽費 46.8%	飲み代 44.4%
男性	飲み代 63.6%	食事・喫茶 59.9%	趣味・娯楽費 57.5%
女性	衣服代 56.5%	食事・喫茶 54.9%	美容関連 52.3%

全体・未既婚ともに「食事・喫茶」が最も多く、半数以上を占めている。

男女別では使い道に違いがあり、男性は「飲み代」が最も多く6割以上、女性は「衣服代」が最多で半数以上を占めている。

2. 昼食について

①昼食内容

	全体	既婚	未婚
自宅から持参した弁当	36.6%	38.6%	32.4%
コンビニ等で購入	16.1%	10.8%	26.9%
弁当と外食との半々	10.2%	9.5%	11.7%
喫茶店・食堂	8.6%	8.5%	9.0%
自宅で食べる	8.0%	8.1%	7.6%
社内食堂	7.3%	8.5%	4.8%
仕出し・宅配弁当	6.1%	8.1%	2.1%
昼食抜き	7.0%	7.8%	5.5%
1日当たりの平均昼食代	538円	534円	544円

全体では「自宅から持参した弁当」が最も多く、36.6%（前回比▲1.3ポイント）。コンビニ等で購入が前回より3.5ポイント増加。

1日当たりの平均昼食代は全体で538円（前回比+37円）。

3. マネー管理

①現在の金融資産額

	全体	未婚	既婚(世帯合計)
平均金融資産額	583.6万円	378.5万円	686.3万円

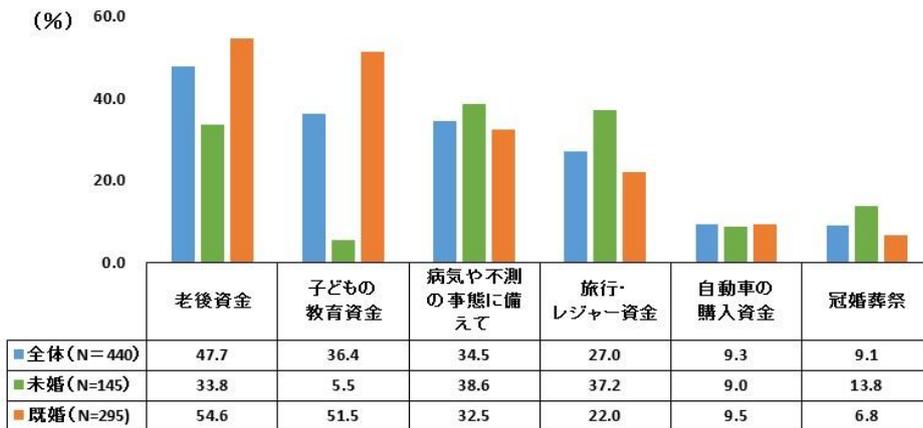
②1年前と比べた金融資産額の増減

「増えた」 26.6% 「変化なし」 61.6% 「減った」 11.8%

「増えた」理由・・・「定期的な貯金(積立)」、「相続」、「退職金」、「就職」など

「減った」理由・・・「結婚式費用」、「子どもの教育費」、「住宅購入」、「収入減」、「車の購入」、「旅行」など

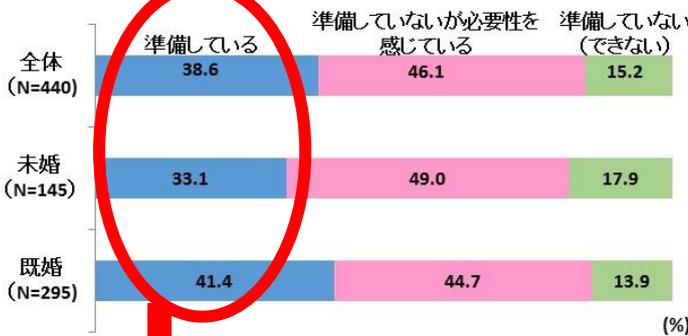
③貯蓄の目的(複数回答)



前回と同じく全体では「老後の備え」がトップ。全体の「子どもの教育資金」が前回第3位から第2位へ。

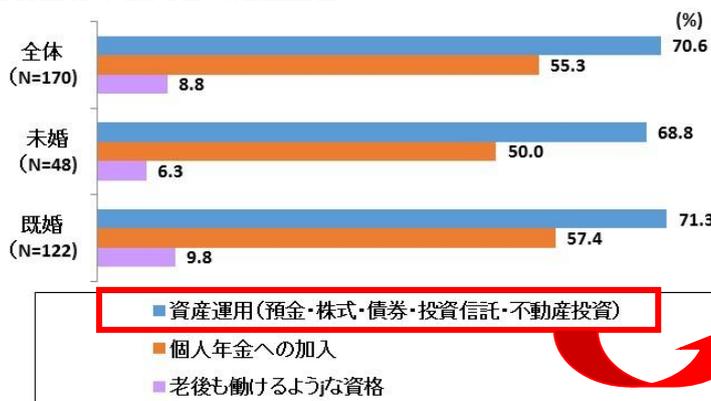
4. 老後について

①老後の生活資金準備

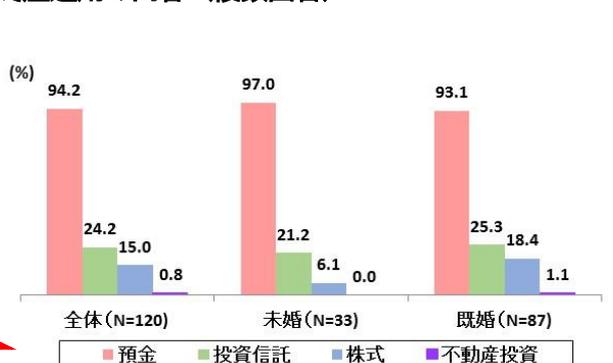


「準備している」が全体で38.6%と、前回より2.8ポイントの増加。「準備している」は未婚者33.1%(前回比+4.4ポイント)、既婚者41.4%(同+1.1ポイント)ともに増加。

②資金の準備内容(複数回答)



③資産運用の内容(複数回答)



準備の内容としては「資産運用」が最も多く、全体で7割以上を占めている。次いで「個人年金の加入」が半数以上を占めている。

「資産運用」の中身については「預金」が最も多く、全体で9割以上を占めており、前回より6.6ポイントの増加。

5. ローンについて

①ローンの有無とローン残高

「ローンあり」 33.6% ⇒ **平均ローン残高 1076.3万円**

「ローンなし」 63.0%

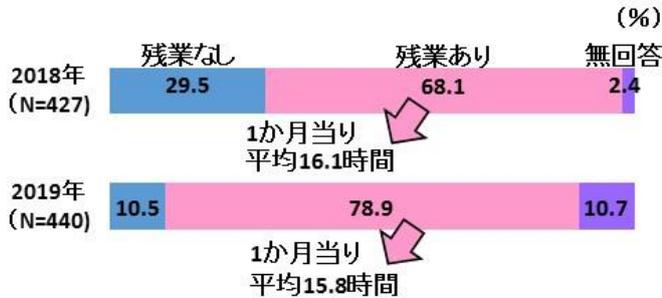
「把握していない」 3.4%

②ローンの内容(複数回答)

	全体
住宅ローン	67.6%
自動車ローン	19.6%
教育ローン	11.5%
カードローン	6.8%

6. 働き方について

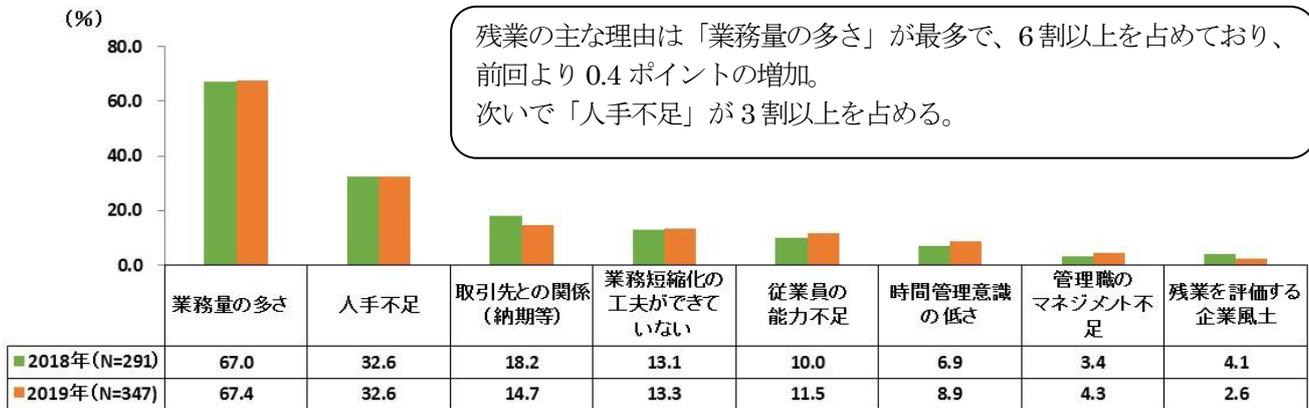
①か月あたりの残業時間



「残業あり」は全体で78.9%と、前回調査より10.8ポイントの増加。

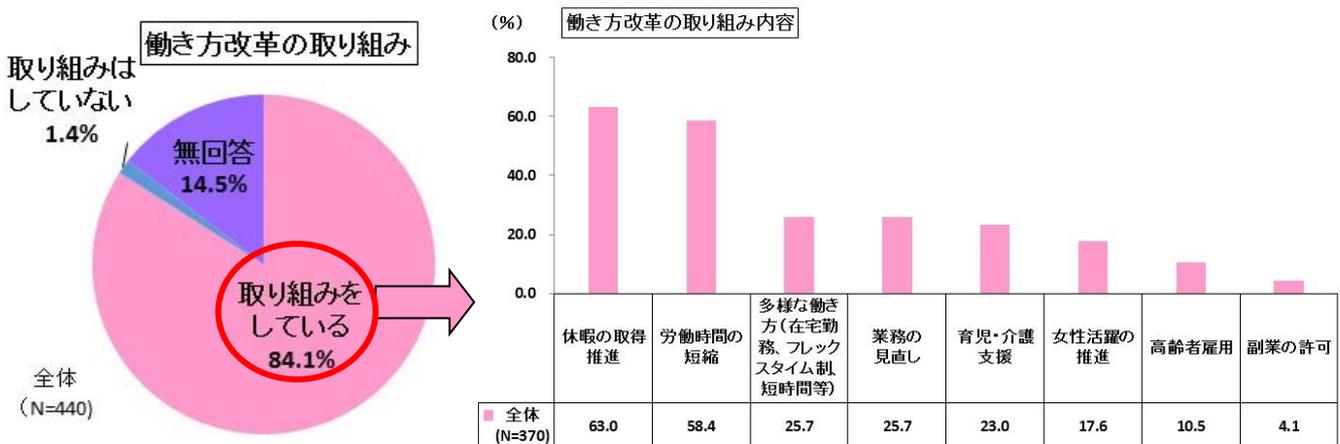
1か月あたりの残業時間は前回より0.3時間減少。

②残業の主な理由(複数回答)



残業の主な理由は「業務量の多さ」が最多で、6割以上を占めており、前回より0.4ポイントの増加。
次いで「人手不足」が3割以上を占める。

③働き方改革の取り組み内容(複数回答)

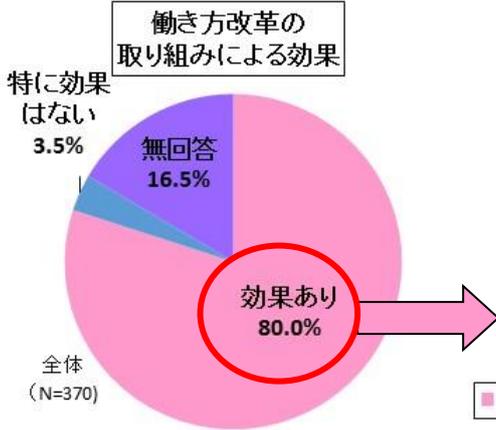


職場で「働き方改革」が取り組まれているのは全体で84.1%と、前回より10.5ポイント増加。

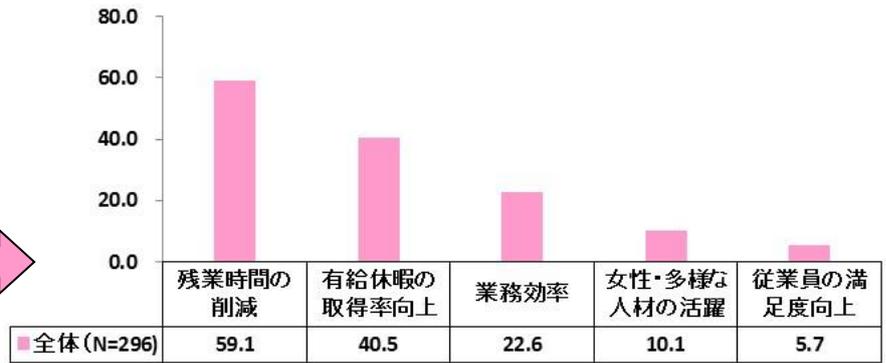
その取り組み内容としては「休暇の取得推進」が最も多く、63.0% (前回比+14.3ポイント)、次いで「労働時間の短縮」が58.4% (同+15.4ポイント) と、それぞれ大幅増。

「多様な働き方」(同+13.0ポイント) については、前回第6位から第3位へと順位を上げている。

④働き方改革の効果（複数回答）



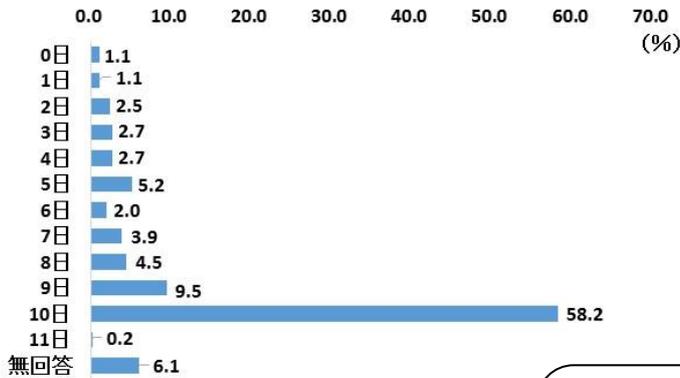
(%) 働き方改革の取り組みにより実際に効果があったこと



「働き方改革」の取り組みにより効果があると回答した人は全体で80.0%と、前回より8.0ポイント増加。効果の内容としては、「残業時間の削減」（前回比+19.3ポイント）が最も多く、前回第2位から第1位へ。

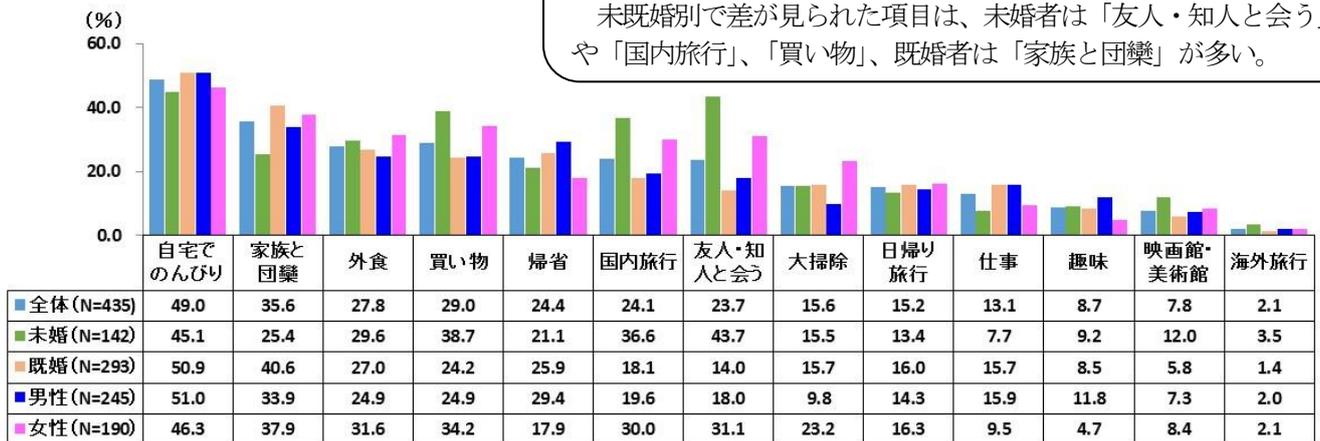
7. 2019年のゴールデンウィーク10連休の過ごし方について

①2019年のゴールデンウィークは何日休んだか



休みが全くなかった人(0日)はわずか1.1%。約6割近くの人が10連休を取得できていた。7日以上を合わせると約76%と、比較的長期間休めている人が多い。

②2019年のゴールデンウィークの過ごし方（複数回答）



全体、未既婚別、男女別ともに「自宅でのんびり」が最も多く5割近くを占める。「旅行（国内・海外・日帰り）」した人は、全体で約4割と、長い休みを利用して遠出する人も多かった。未既婚別で差が見られた項目は、未婚者は「友人・知人と会う」や「国内旅行」、「買い物」、既婚者は「家族と団欒」が多い。

【まとめ】

●老後の生活資金準備—「準備している」人は未既婚ともに増加。預金で準備している人が多い。
⇒老後への関心の高まりから貯蓄志向は強い。老後の生活資金準備をしている堅実な人が増えている。

●働き方改革の取り組みを行っている職場が増え、取り組みの効果が前回より改善している職場が多くなっている。
⇒労働時間の削減に組み、実際に残業時間が減っている職場は増えているが、残業をする人の割合は増加。その主な理由として「業務の多さ」、「人手不足」が多くを占めており、残業を減らすためには、業務の効率化等の取り組みが必要。